



乗富鉄工所は、柳川で創業70年歴史を誇る水門メーカーだ。三代目の乗富賢蔵さんは地元に戻って5年目。職人流失を独自のアイデアで乗り越え、アウトドアブランドを立ち上げる。その活動が注目され、2021年経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選出。まだまだ道半ばの乗富さんの、仕事にかける思い、今後の目標を伺った。

●この職業を選んだきっかけ

水路が生活の中にある水郷柳川で、家業の工場の中を通学路としていました。大学卒業後は関東の造船所で生産管理の仕事をしていましたが、仕事で成果が出てくると、会社の外で力を発揮してみたいと思う気持ちが生まれてきました。そんな折、両親の「戻ってきてほしい」という声を受けて家業の鉄工所を継ぐ決意をしました。

●職場の魅力や責務

乗富鉄工所では20メートルを超える大型水門から1メートル未満の小さな水門やポンプ、歩道橋やクレーンに至るまで、幅広い分野のものづくりを行っています。その中心となるのは鉄工職人「メタルクリエイター」。分業が当たり前だった大企業の生産管理を生業にしていた私は、材料切断、切削、組立、溶接まで様々な技能をもつ彼らの技術に驚くと同時に、なにより彼らがものづくりを心から楽しんでいる姿に感動したのを覚えています。私自身はそんな彼らがポテンシャルを最大限に発揮してもらえらる仕組み・組織文化づくりを行っています。

●仕事のこだわり、ポリシー

私のポリシーは「得意なことを生かして仕事も人生も全力で楽しむ」ということ。ライティングや写真撮影が趣味だった私は特技を生かしてTwitterやnote、YouTubeなどを使い会社の広報を行っています。社員にも部署や役職に関係なく得意なことを生かせるシーンがあれば積極的にチャレンジしてもらっています。みんなが特技を生かして楽しく働ける会社にすべく、日々奮闘中です。

●印象的なエピソード

入社当時、職人の3分の1が辞職するなど家業は危機的状況にありましたが、職人の待遇改善や働き方改革、「Pass」キントーン」を

担い手シリーズ 36

目指すのは 未来に希望がもてる ワクワクする会社

乗富 賢蔵 入社5年目(取締役副社長)
株式会社 乗富鉄工所



乗富 賢蔵 (のりどみ けんぞう)
福岡県柳川市出身、九州大学工学部卒業、住友重機械マリンエンジニアリング株式会社を経て、平成29年5月(株)乗富鉄工所入社

会社概要
(株)乗富鉄工所
〒832-0806 柳川市三橋町柳河934-4
TEL.0944-73-6177 FAX.0944-73-6179
<http://www.noritetsu.com>

活用した業務改善、職人技を生かしたアウトドアブランド「ノリノリライフ」立上などさまざまな取り組みを通して、未来に希望がもてるワクワクする会社に近づいてきました。ちなみに今年導入した年間2万円まで趣味に使える「ノリノリ手当」は特に好評で社内でも面白い話題が増えました。職人の流出は2021年春を最後にストップし、2023年春には女性4名を含む6名の新入社員を迎える予定です。

●今後の目標

職人の世代交代も順調に進んでいる今、水門メーカーとして水門管理者の高齢化問題をなんとかしたいと思っています。弊社では古いタイプの水門開閉機に取り付けることでラクに開閉できるようになる「水門アタッチメント」や、スマホなど遠隔で操作できるようにする「水門ボット(※)」の展開により、持続可能な治水・利水を実現していきたいと思っています。

もっと大きな水門も作ってみたいし、アウトドアブランドとしてももっと知ってもらいたい。でも一番はメタルクリエイターの技術を継承・発展させ地域の暮らしを支えながらも「ものづくりは楽しくてかっこいい」ということを体現するような会社です。日本の鉄工所はまだまだやれる、それを証明していきます。

※水門ボット取付は特許をもつ株式会社オートマイズラボと共同展開